

システム情報の表示から画像データのリサイズまで…コマンドだけでこれだけできる

# 運用時の強力な戦力に! コマンドライン・ユーティリティ

宗像 尚郎

ここからは、Linuxをバリバリ使っていく上で強力な戦力となるコマンドライン・ユーティリティを紹介します。

コマンドライン操作は、GUI環境がない組み込みLinux環境では欠かせないものです。グラフィカル環境でもterminalアプリケーションを起動して利用でき、スクリプト化することで複雑な処理を自動化する目的にも応用できます。

ここで紹介するコマンドはUbuntu 22.04で動作確認していますが、ディストリビューションやカーネ

ル・バージョンによって使い方が異なる場合もあるかもしれませんが、それぞれのコマンドには多くの機能が組み込まれている場合がありますが、ページ数の制約から、ここでは代表的な使い方だけを紹介します。それぞれのコマンドの詳細は、オンライン・マニュアル(manコマンド)や、ウェブ検索でヒットする詳細な技術解説記事などを参照してください。

むなかた・ひさお

## 26 システムの起動や挙動の設定

### 1 思わぬ事故を防ぐ! Ubuntuでマウス中央ボタンによるペーストを無効にする

Ubuntuでは、デフォルトで3ボタン・マウスの中央ボタン(写真1に示すようなThinkPadのタッチ・パッド上の中央キーなど)にペースト機能が割り当てられています。この副作用として、例えばソースコード編集中に中央ボタンに触れて、意図しない文字列がコードに挿入される(本人は挿入されたことに気付かない)事故が発生する可能性があります。

リスト1の方法で、中央ボタンへのペースト機能の割り当てを解除できます。

リスト1 マウスの中央ボタンに割り当てられているペースト機能を解除する手順

```
# ~/.xbindkeysrc に次の2行を記入して保存
"echo -n | xsel -n -i; pklll xbindkeys;
                                xdotool click 2; xbindkeys"
b:2 + Release

$ xbindkeys -p
/./xsessionrc
```



写真1 マウスやポインティング・デバイスの中央ボタンをデフォルト設定のままにしていると、思わぬ事故を招く恐れがある。デフォルトだとペースト機能が割り当てられている。意図せずソースコードに文字列が挿入される可能性がある。